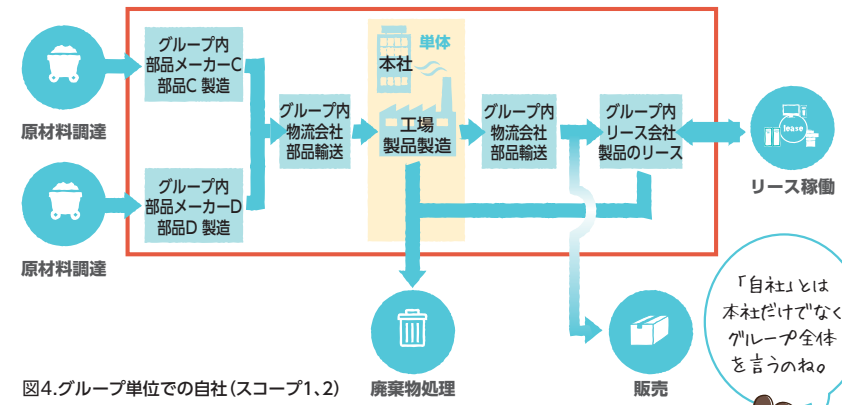


算定対象範囲の確認

どこまで、いつまでが算定対象か知ろう



1 グループ単位を自社の範囲とする考え方



算定・報告・公表制度はグループ単位ではなく個社を自社の範囲として対応しますが、サプライチェーン排出量ではグループ単位を自社の範囲として対応する必要があります。特に、グループ内企業との取引がある場合は注意が必要です。



2 算定対象とする排出量が実際に排出される年度

表2.算定対象となる活動が実際に排出している時期

スコープ3カテゴリ	過去	報告年度	将来
1 購入した製品・サービス	■	■	■
2 資本財	■	■	■
3 スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	■	■	■
4 輸送、配送(上流)	■	■	■
5 事業活動から出る廃棄物	■	■	■
6 出張	■	■	■
7 雇用者の通勤	■	■	■
8 リース資産(上流)	■	■	■
9 輸送、配送(下流)	■	■	■
10 販売した製品の加工	■	■	■
11 販売した製品の使用	■	■	■
12 販売した製品の廃棄	■	■	■
13 リース資産(下流)	■	■	■
14 フランチャイズ	■	■	■
15 投資	■	■	■

自社の活動からの排出量(スコープ1, 2)については、算定対象とした報告年度に実際に燃料消費などで排出した排出量が該当します。一方、スコープ3排出量(サプライチェーンの上流や下流の排出量)の排出時期は、算定対象とした報告年度とは異なる場合があります。

3 環境省のホームページに取組事例と算定事例が掲載されている

取組事例のイメージ

個社別に取組事例を確認できる

会社ごとに、算定の目的や結果の活用方法を確認することができる。

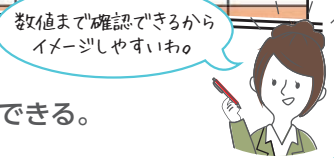


業種別算定事例集のイメージ

業種別に算定事例を確認できる

カテゴリ	排出量 ①×②	割合		該当する活動	活動量		排出原単位	
		%SC2	%SC123		①数値	単位	②数値	単位
1 購入した製品・サービス	805,563	71%	60%	精米	80500	千t	1.59	t-CO2/t
算定対象範囲 国内の環境マネジメントシステムの対象範囲、ただしグループ会社については売上比率からみなし算定	127,985			小麦粉	50200	千t	0.85	t-CO2/t
2 資本財	47,690			塩	500	kg	0.108	t-CO2/t
3 エネルギー関連活動	53			砂糖	1000	kg	1.34	t-CO2/t
4 輸送、配送(上流)	1,340			麦芽	72,883.4	kg	1.18	t-CO2/t
5 事業活動から出る廃棄物	84,324			副原料	40,113.7	kg	0.603	t-CO2/t
6 出張	24,189			ポップ	551.2	kg	2.12	t-CO2/t
7 雇用者の通勤	1,169			びん	55,101.4	kg	0.983	t-CO2/t
8 リース資産(上流)	34,718			ラベル	80.1	kg	2.2	t-CO2/t
9 輸送、配送(下流)	176			玉葱	239.3	kg	2.73	t-CO2/t
10 販売した製品の加工	853			アルミ缶	18,134.7	kg	9.55	t-CO2/t
11 販売した製品の使用	173,166			段ボール	11,287.5	kg	0.834	t-CO2/t
12 販売した製品の廃棄	9,397			缶紙	5,124.5	kg	5.03	t-CO2/t
13 リース資産(下流)	25,776			リネンサプライ	30	250	2.3	t-CO2/百万t-CO2/百万円
14 フランチャイズ	0			他グループ会社みなし	618,884	t-CO2	30%	環境省DB/37表
15 投資	69,000							

業種ごとに、算定方法や活動量・排出原単位の選択の例を確認することができる。



算定の範囲について  
ひとつひとつ確認しよう

- 【時間的範囲】の解説を読んでも意味がわからないわ。この表を見ると、②カテゴリによって、報告対象年度だけじゃなく、過去と将来の排出量を算定するのね。一年間だけじゃないのね。思ったより大変かも…。既に社内にあるデータでそこまで集められるかな？
- 【活動の種類】は、温室効果ガスの排出に関わるすべての活動か。お客様が、当社のパスタソースをゆでるときに鍋を温めるガスとか、パスタにかけて電子レンジで温めるなら、電気も排出量も必要かもしれないわね。
- 【地理的範囲】は、国内と海外、当社も海外に畑や工場があるし、海外から原材料を調達しているから、データはありそうね。
- 【組織的範囲】は、①グループ会社全体とその上流と下流が。既に社内にあるデータがどんなものがあるかによるわね。スコープ1・2はCさんが担当されている算定・報告・公表制度の対象だから、あとで聞いてみよう。
- 【温室効果ガスの範囲】は、Cさんが担当している「算定・報告・公表制度」の「ガスの種類」と同じね。あとでCさんに聞いて。
- パンフレットを見ながら進めよう。ステップ1はクリアできたわ。ステップ2は【算定対象範囲】ね。
- 【環境省のウェブサイトに、会社別・業種別にさまざまな取組の資料が掲載されている。自社と同じ業種、似た取組を参考にできる。特にどんなカテゴリを対象にしているかは、自社の算定を行う上でも重要になってくる。

まとめ  
環境省のウェブサイトに、会社別・業種別にさまざまな取組の資料が掲載されている。自社と同じ業種、似た取組を参考にできる。特にどんなカテゴリを対象にしているかは、自社の算定を行う上でも重要になってくる。